

平成28年1月15日
在南アフリカ共和国日本国大使館

大使館からのお知らせ

～マルボロドライブ (Marlboro Dr) 上で発生したカージャック事案について：注意喚起～

先般、以下のとおり在留邦人が被害者とするカージャック事案が発生しました（※被疑者は現行犯逮捕済）。在留邦人の皆様におかれましては、今後、改めて防犯意識を高めるとともに、自家用車等を使用して移動する際には、以下の事項に留意して被害の未然防止に努めてください。

1 発生日時

2016年1月8日（金）23時頃

2 発生場所

マルボロドライブ (Marlboro Dr) とノースウェイ (North Way) の交差点

3 状況

23時頃帰宅途中、サントン方面からマルボロドライブとノースウェイの交差点にて信号待ちのため停止した際に、犯人（黒人男性1名）に助手席側の窓ガラスを破壊され、サイドブレーキを引かれた。被疑者が車内から車の鍵を奪う間、被害者は隙を見て車外へ逃走したが転倒してしまい、被疑者から殴る蹴る等の暴行を受けた。被害者は反撃に転じ揉み合いになったが、近くを通りかかった白人男性からの救援を受け、犯人を取り押さえたものである。

4 留意事項

- (1) 自家用車等に乗車した際、又は、信号待ちのため停止した際には、周囲に不審な人物（こちらの様子を窺っている者）がいないか、直近の車両内に運転手他（複数）が不自然に待機しているような状況はないかをよく確認する。かかる状況を認めた場合には、現場から即離脱した上で、警察署に通報する。
- (2) 出発前にルートをよく確認する（犯罪多発エリアを避け、走行中も地図を携行する）。
- (3) 停車する場合には、前車との間隔を十分取る（少なくとも1台分のスペースが必要）。
- (4) 信号前や交差点では速度調整等を行い、停まらない措置を講じる。
- (5) （コンプレックスを含め自宅敷地内の出入口に警備員がいる場合、）帰宅前に同警備員へ連絡し、周辺に不審な人物又は車両がいないかを確認する。確認ができた場合は、同不審物を排除すべく同警備員へ対応させて、排除されるまでの間、自宅へ戻らず迂回する措置を講じる。

- (6) 今回の事案では、幸い通りかかった白人に援護してもらい、人的被害は軽傷で済み犯人逮捕に至ったが、被疑者は拳銃やナイフ等を所持している可能性が高いため、本件のごとく事案が発生した場合は、相手の顔を見ないように頭を伏せて、被疑者を逆上させないように被疑者の要求に従うことも考慮する必要がある。

(了)